



美化活動、お疲れさまでした

本年度一回目の美化活動を、5月20日金曜日実施しましたが、今回も参加社員のご協力で、想定以上の成果をあげることができました。事前の調査で、青柳駅周辺に空き缶などが散乱していることや、那珂川土手に沿って万代橋に向かう道路沿いにごみの散乱が確認出来ていましたので、今回の計画では、確認地域を中心に、清掃活動を行なうこととしました。担当した社員の報告で、那珂川沿い土手は、業者による草刈作業が終了したため、隠れていたごみも目立つようになり、大変だったと言っていました。反面、住宅地域は、ごみの散乱が少なく、地域住民の意識が高いことを感じました。次回は10月ごろ計画されていますので、ご協力をお願いします。また、社員の皆様が住んでいる地域の美化活動などにも、積極的に参加するようにお願いします。



環境展2016を見学してきました

東京ビックサイトで行なわれた、環境展2016を見学してきました。エネルギー関連では、バイオ発電の製品や新機種発表が目をひきました。一時の太陽光、風力といった次元から、違った方向に進みつつあるようで、各企業の思惑が交錯しているようです。一方で、地中熱利用など、生活の中にある熱源活用を図る試みもあるようです。企業傾向としては、こうした開発のコストを下げるため、企業間共同体制作りや、別組織、子会社化したりと多様化しています。様々な節電グッズや設備も目をひきました。節電ビジネス競争はこれからも続くようです。



今月の生物多様活動 ～ 水戸市環境フェアに参加しました ～

6月5日、日曜日、以前は環境フェスタと呼ばれていた環境イベントが、環境の日をピーアールするために、6月開催とし、「水戸市環境フェア」と改称して、初めて開催され、当社も協賛企業として出展しました。今回も、各部署よりいただいた、不要になった工具、事務用品などを、無償で市民の方にお譲りしました。その際、ものを大切に使う心が重要であると「もったいない」精神を前面に、パネル展示なども行ないました。来場者には、好評をいただき、開始早々にすべてなくなる盛況で、お会いした市民の皆様と、様々な環境問題について語り会いました。



最高責任者(社長)のコメント ～ 廃棄物は規則に従って ～



今月の環境用語



美化活動の収集物の中に、カミオムツがあった。那珂川土手付近で幾度となく、放置されたものを確認している。地域でも問題視しているが、これは環境に悪いことは言うまでもなく、時間が過ぎて土に戻ることがない製品だ。各家庭でも廃棄物は、その地域が指定した方法で処分すること。

「自己評価とKES審査」

7月は定期自己評価を実施している。KESで言う自己評価は内部監査を意味している。内部の監査を受けた後、KESの登録審査を受ける予定。こうした内部、外部から様々な意見を参考にしながら環境活動の方向性が正しく導かれている。

今月の環境目標進捗状況

	今月の目標	今月の実績	今月の評価	本年目標累計	本年実績累計	累計達成率	全体評価
電気使用量の削減	13,953kwh	11,260kwh	Ⓢ	30,297kwh	24,156kwh	125%	↑
一般ごみの削減	59袋	55袋	Ⓢ	125袋	119袋	105%	↑
エコキャップを回収	774個	887個	Ⓢ	1,591個	1,723個	108%	↑
美化活動の実行	1回	1回	Ⓢ	1回	1回	100%	↑
生物多様性保護支援	—	1回	Ⓢ	1回	2回	200%	↑